

# 令和元年度 近畿ブロック 事業報告

## 1. 活動テーマ

“未来を創造する公衆衛生看護活動の展開”

—みる・つなぐ・動かす～保健師の原点から住民とともに創る未来～に向けた取組

## 2. 目的

保健師活動のコア「みる・つなぐ・動かす」の側面から、専門性の高い公衆衛生看護活動の強化及び質の向上を図る。

## 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	5月25日(土) 14:00～16:00	大阪府社会福祉会館 2階203号室	第1回理事・支部長会 ・常任理事会等報告 ・各支部活動報告及び情報交換 ・近畿ブロック研修会検討 参加人数 12名
2	8月24日(土) 13:30～16:30	国民會館住友生命ビル12階 大ホール	近畿ブロック研修会 1 全国保健師長会活動報告 担当理事 山野井 尚美 会長 2 研究報告及び講演 「災害時に求められる統括保健師の役割と機能」 大阪市健康局健康推進部 松本 珠実保健 主幹 ・グループワーク 参加人数 143名
3	10月26日(土) 14:00～16:00	大阪府社会福祉会館 4階404号室	第2回理事・支部長会 ・ブロック研修報告・評価 ・情報交換
4	令和2年 2月1日(土) 14:00～16:00	大阪府社会福祉指導 センター 4階ゼミナール室	第3回理事・支部長会 ・活動のまとめ ・次年度の研修計画 ・情報交換

## 5. 結果・課題

《理事・支部長会》

- ・全国保健師長会活動伝達、ブロック研修会の内容検討、各支部の活動報告、情報交換（人材確保及び育成等）及び保健師活動に関わるタイムリーな情報提供の場になっている。

《研修会》

- ・参加が143名（府県49 政令市43 中核市27 市町村24）であった。
- ・全国保健師長会活動報告は会長より設立準備期からの歴史も語られた。保健所と市町村保健師がともにリーダーの横の繋がりが持てるという画期的な会であり、展開期である今、保健師活動の可視化等重点目標に向かい会員とともに歩み育っていく会として、参加者の理解が深まった。
- ・講演はまず大阪北部地震の公私に渡る講師の初動の話しから始まり、災害時の統括保健師の役割について、マネジメント機能の重要性、そのための平時からの準備そして統括的役割を果たすためのスキルアップについて具現化され、その後のグループワークの充実に繋がる内容と

なった。

- ・グループワークは府県、政令中核市、市町村ごとに分かれ、全 25 グループで意見交換を実施した。テーマを①自施設の災害における統括保健師の役割②災害に備えて自分自身が取り組みたいことに設定し、各グループ内の被災経験を有する自治体からの情報提供を含め活発な意見交換となった。また、各々の自治体の立場で、今後の災害に備えての統括保健師の役割、組織の体制づくりについて具体的意見がでていた。事後のアンケートでも、参加者全員が「理解できた」「参考になった」と回答があった。その中でも約6割が「よく理解できた」「とても参考になった」との回答で、満足度の高い研修となった。
- ・今後も、会議や研修会を通して情報交換等を行い、災害対応を含めた保健師活動の強化および人材育成・定着に取り組んでいきたい。

## 5. 支部活動の特徴

- ・近畿ブロックはアクセスが比較的良く研修会とは別に年3回、理事・支部長会を開催している。
- ・府県・政令中核市の枠を超えた活発な情報及び意見交換の場になっている。
- ・研修会においては、全国保健師長会の活動をより理解し、保健師に求められているテーマを選定し、情報を自分の地域に置き換えて捉え、会員間の交流・情報交換により、各所属での実践的な活用を図っている。

## 6. 委員・支部長

○理事	丘 隆子	大阪府吹田保健所地域保健課
理事	蕨野 由佳里	大阪市保健所
滋賀県	宇野 千賀子	滋賀県甲賀健康福祉事務所
京都府	木下 直子	京都府健康福祉部
大阪府	山本 祐子	大阪府健康医療部保健医療室地域保健課(兼)健康医療総務課
兵庫県	谷川 さだ子	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課
奈良県	福井 恵美子	奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課
和歌山県	釜阪 加寿恵	和歌山県福祉保健部健康局医務課看護班
京都市	岩井 圭世	京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課
大阪市	松本 珠実	大阪市健康局健康推進部
堺市	速水 真紀	堺市北保健センター
神戸市	山崎 初美	神戸市保健福祉局保健所